

You, Unlimited

龍谷大学大学院

文学研究科

Graduate School of

Letters

2027



RYUKOKU
UNIVERSITY

Master Your Words

すべての基盤となる「言葉」を学び、
「言葉のプロフェッショナル」へ

新たな知を創出する、 文学研究科の特色ある8専攻

真宗学専攻

修士課程：入学定員 20名 博士後期課程：入学定員 5名

真宗教義の本質を研究する真宗教義学、浄土教の教理の展開を研究する浄土教理史、親鸞以降の教学展開を研究する真宗教学史、世界の悲しみに寄り添う宗教的姿勢を研究する真宗伝道学から、真宗学の真理性を究めます。

仏教学専攻

修士課程：入学定員 20名 博士後期課程：入学定員 5名

仏教の教義的特色を総合的・多角的に研究する仏教教学、仏教の文化的・歴史的・地域的な展開を研究する仏教文化学、仏教とインド哲学・異思想との対比を研究するインド哲学の3つの分野から、仏教教学の諸問題を解明します。

哲学専攻

修士課程：入学定員 7名 博士後期課程：入学定員 2名

哲学ならびに西洋哲学史(古代・中世・近世)、倫理学、宗教学の3つの分野から、科学・倫理・宗教について総合的な広い視野の思想的探求と現代の諸問題に応える研究をすすめます。

教育学専攻

修士課程：入学定員 7名 博士後期課程：入学定員 3名

教育学領域と教育心理学領域において、教育の本質・方法、教育と社会・文化との関係、学校教育の実践的課題の解明、成長・発達や学習に関する心理学などを対象にした研究をすすめます。

日本史学専攻

修士課程：入学定員 7名 博士後期課程：入学定員 2名

日本史の諸分野に関する教育・研究を通して、専門的知識・技能の修得はもちろん、批判精神をふまえた、より確かな歴史認識を持ちうる人材を養成します。

東洋史学専攻

修士課程：入学定員 7名 博士後期課程：入学定員 2名

中国をはじめとするアジア諸地域の歴史に関する高度で専門的知識・技能の修得を通して、研究者養成・社会人の再教育を行うとともに、広い視野に立ってアジア全体を深く洞察できる人材を育成します。

日本語日本文学専攻

修士課程：入学定員 7名 博士後期課程：入学定員 2名

古典文学・近代文学・情報出版学・日本語学の4分野の学修を通して、日本の言語・言語文化について深い学識と高度な研究能力を身につけるとともに、その言語・言語文化を継承・発展させ、新しい言語文化を創造・伝播する能力を高めます。

英語英米文学専攻

修士課程：入学定員 7名 博士後期課程：入学定員 2名

英米文学・英語学・英米文化についての深い学識を身につけるとともに、国際化する現代社会で活躍できる能力を養います。

文学研究科

Graduate School of Letters



「ことば」を紐帯とし、グローバル化する「知」に対応する文学研究科

文学研究科は、真宗学・仏教学・哲学・教育学・日本史学・東洋史学・日本語日本文学・英語英米文学の8専攻から構成されており、「ことば」を紐帯とし、各専攻が定める「教育理念・目的」に基づき、特色ある教育研究活動を展開しています。

国際交流の面では、多くの留学生を受け入れている一方、交換留学制度を利用し、協定校へ留学生を送り出しています。また、真宗学専攻を主として、北米やハワイ、ヨーロッパにおける伝道の実態を学ぶ研修プログラムなどを提供し、グローバル化する「知」に対応するとともに、高度職業専門人養成の一翼を担っています。

大学間交流については、京都および近畿圏の宗教系の8大学9研究科1学部で構成する「京都・宗教系大学院連合」(K-GURS)に加盟し、加盟大学の宗教関連科目を履修できる単位互換制度を導入しているほか、大学間での研究交流も積極的に行っています。

POINT

■古典籍をはじめとする多くの文献資料が充実

文化財・典籍が収蔵されている大宮図書館があり、古典籍に直接触れることができる絶好の研究環境。

■最先端の研究成果を大学院教育に還元

仏教関係大学付置研究センターでの研究成果を大学院教育に還元。

研究科長からのメッセージ

探究と発見、討議と発信の場としての研究科

1639(寛永16)年に西本願寺学寮として創立され、385年以上にわたる伝統を受け継いできた龍谷大学において、大学院文学研究科は1953年に開設され、70有余年の歴史のなかで、京都における人文学研究の一拠点として実績を積み重ねてきました。

現在、文学研究科は、真宗学・仏教学・哲学・教育学・日本史学・東洋史学・日本語日本文学・英語英米文学の8専攻で構成されており、それぞれの学問分野において充実した研究がすすめられています。

真宗・仏教の原典や文学作品、古文書・古記録などの歴史資料など、「文字」や「ことば」で表現されたものから、美術作品や建築・考古資料といった「形あるもの」、さらには「ことば」や「形」に込められた人びとの祈り・願い・思いといった「形のないもの」にいたるまで、本研究科では多種多様な研究対象について深く探究と議論を重ね、その成果をグローバルに発信しています。

文学研究科での研究活動は、各専攻の大学院生の研究拠点であり、多数の専門文献や機器等を備えた共同研究室と、静謐でありながら充実した情報設備を有する大宮キャンパスの優れた環境、そして1936(昭和11)年に開設され、現在人文学系を中心に77万余冊の蔵書を備え、数多の貴重書を所蔵する大宮図書館によって支えられています。また2011(平成23)年に開館した龍谷ミュージアムでは、仏教美術を中心に多数の学術資料が保管・展示され、研究対象としても広く活用されています。2016(平成28)年に発足した文学部歴史学科文化遺産学専攻の関連施設には、文化遺産の保存・修復のための最新の機器が備えられ、最新技術による歴史資料の科学的分析が日々進められています。

2024(令和6)年度には、全学的に大学院研究奨励・支援制度が整備され、学会活動や調査、論文投稿などに関する充実した支援の仕組みがスタートし、院生の皆さんの自発的な研究とその成果の発信を支えていくこととなりました。

これからも文学研究科は、高い専門性をもって人類の過去と現在を学び、新たな社会に主体的に参画する優れた人材を育成すべく、探究と発見、そして開かれた討議と発信の場を提供してまいります。



文学研究科長

山本 浩樹 教授

TOPICS

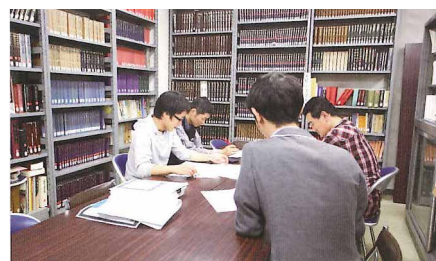
Topics

1

新たな「知」を創造する空間、合同研究室

大宮キャンパスには、各専攻に合同研究室を配置しており、ここを拠点に日常の研究活動を展開し、授業や演習での発表準備や論文作成のためのデータ収集や執筆などを行っています。また、専攻・分野にかかわる基本書や事典・辞書類、各種の新刊の研究雑誌が配架されているほか、パソコン等も整備されています。

また、合同研究室は院生同士での議論・情報交換の場であるとともに、学部生との共用スペースとなっていることから、学部生がゼミ発表・卒業論文作成等の相談にもやってきます。この合同研究室は、「知」を創造する学びのコミュニティとしても役割も果たしています。



合同研究室での論文作成

Topics

2

宗教の壁を越えてのコラボレーション、「京都・宗教系大学院連合 (K-GURS)」

文学研究科では、宗教系の8大学9研究科1学部(龍谷大学・大谷大学・同志社大学・仏教大学・高野山大学・花園大学・種智院大学・皇學館大学)により構成されている「京都・宗教系大学院連合(K-GURS)」へ加盟し、宗教・宗派を越えて、各大学の宗教関連科目の履修ができる単位互換制度を導入しています。

K-GURS加盟大学では、それぞれの宗教・宗派の特色を活かした教育プログラムを展開し、次世代の宗教研究者や宗教指導者など、宗教に関するプロフェッショナルとなる人材育成を行っています。



K-GURS加盟大学教員によるチェーンレクチャー

Topics

3

高度な教養、文章力・論理的思考力を養成する「大学院共通科目」

全専攻の大学院生が受講できる語学科目として、大学院生に求められる高度な教養としての外国語能力を養成する「英語(リーディング)」、「英語(ライティング)」、学位論文をはじめとする学術論文を作成するにあたって必要とされる文章表現力や論理的思考力を養成する「アカデミック・ライティング」を開設しています。



アカデミック・ライティング

Topics

4

グローバル化する“知”に対応する海外プログラム・学術交流

文学研究科ではグローバル化する“人文知”に対応し、かつ高度職業専門人養成を目的とする海外プログラムを設けています。(真宗学専攻)

海外における伝道の実態を学ぶべく、北米やハワイ、ヨーロッパの寺院見学等を現地研修として実施し、海外伝道事情を学ぶプログラムを設けています。



真宗伝道学特殊研究

Topics

5

通常の修了年限では履修が困難な学生を支援する「長期履修学生制度」

職業を有している等の事情により、通常の修了年限では履修が困難な学生を対象に、修士課程・博士後期課程とも6年間を上限とし、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができる制度を設けています。

真宗学専攻



POINT

- 聖典に親しみ、親鸞教義の本質を研究します
- インド・中国・日本にわたる七高僧などの浄土教の展開を研究します
- 覚如・存覚・蓮如・近世・近代にわたる真宗教学を研究します
- 世界の悲しみに心を寄せて、親鸞教義に基づく活動を研究します

主な学会発表・研究発表

日本仏教学会 博士後期課程 2025年度

岩崎 慧
真宗における女人救済論の再考

龍谷大学真宗学会

桑原 悠真
江戸期における『教行信証』の訓読—深励師とその周辺—

野田 智明
『教行証文類』『化身土文類』における神の位相—中世の神観念を踏まえて—

筑紫 信頭
「真土土文類」『述文賛』引文を通してみる十二光と第三十三願との関連について

真宗連合学会

近藤 義行
親鸞における「利他通入の一心」の意義について

小松 俊一郎
親鸞の「守屋観」再検討
—影の権者としての物部守屋—

鳥喰 唯誓
覚如『口伝鈔』における抑止・摂取の主体について
—法然門流の議論を背景として—

野田 智明
「化身土文類」末と孝思想

日本印度学仏教学会

日本宗教学会
宗教倫理学会
日本仏教看護ビハーラ学会など

修士論文中間発表大会
11月頃に開催します

専任教員紹介

2026年度 専任教員の専門分野・主な研究テーマと担当授業科目

氏名	専門分野・主な研究テーマ	主な担当授業科目
玉木 興慈	真宗教義学／真宗伝道学	真宗学演習
殿内 恒	真宗教義学／浄土教理史	真宗学演習／浄土教理史演習
那須 英勝	真宗教学史／宗教文化史	真宗学演習／真宗教学史演習／真宗教学史特殊研究B
鍋島 直樹	真宗教義学／真宗伝道学	真宗学演習／真宗伝道学演習／真宗学特殊研究B
井上 見淳	真宗教義学／真宗教学史	真宗学文献研究B
井上 善幸	真宗教義学／浄土教理史	真宗学文献研究A
内田 准心	真宗教義学／浄土教理史	真宗学文献研究A
内手 弘太	真宗教義学／真宗教学史	真宗学文献研究B
葛野 洋明	真宗伝道学	真宗伝道学特殊研究(USA)
武田 晋	真宗教義学／真宗教学史	真宗学文献研究A
能美 潤史	真宗教義学／真宗教学史	真宗教学史特殊研究A

仏教学専攻



POINT

- 高度な専門的知識を備えた研究者を育成します
- 世界に誇る仏教古典籍コレクションを用いた多彩な研究を行います
- 龍谷大学世界仏教文化研究センター・龍谷大学図書館・龍谷ミュージアムと連携します
- 100年におよぶインド学・インド仏教学・チベット仏教学・西域仏教学・中国仏教学・日本仏教学等の研究の伝統があります

主な学会発表・研究発表

龍谷大学佛教学會 仏教学大会

〈講演者〉入澤 崇(名誉教授)

〈講演年月日〉2025年5月22日

〈講題〉「大谷探検隊に仏教学の手法を学ぶ」

国際シンポジウム

「西域響流～大谷探検隊をめぐる
デジタルヒューマニティーズ最前線」

〈古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センター主催〉

〈世界仏教文化研究センター共催〉

〈開催日〉2025年12月20日

三谷真澄・道元徹心・早島 慧(ポスター展示同時開催)

日本印度学仏教学会

日本仏教学会

パリー学仏教文化学会

龍谷大学佛教学會 など

専攻では「修士論文中間発表」も
行なっています。

専任教員紹介

2026年度 専任教員の専門分野・主な研究テーマと担当授業科目

氏名	専門分野・主な研究テーマ	主な担当授業科目
藤丸 要	日本仏教学(華嚴)	仏教学演習
三谷 真澄	仏教文化学(西域・チベット)・古写本学	仏教学演習
岡本 健資	インド仏教	仏教学演習
志賀 浄邦	仏教思想、インド哲学	仏教学演習
道元 徹心	日本仏教学(天台)	仏教学演習／仏教学特殊研究
長谷川 岳史	中国仏教学(唯識)	仏教教学史特殊研究
青原 令知	インド仏教学(倶舎)	インド哲学特殊研究
野呂 靖	日本仏教学(華嚴)	仏教学文献研究(漢文)
早島 慧	インド仏教学(唯識思想・中観思想)	仏教学文献研究(サンスクリット)

哲学専攻



POINT

- 西洋哲学の各分野のスタッフがそろっており、自分の研究をバランスよく深めることができます
- 論文の書き方はもちろん、文献の読み方や使い方に関しても、丁寧な指導により自分の能力をさらに伸ばすことができます

主な学会発表・研究発表

修士論文中間発表会

哲学専攻大学院修士課程在籍者全員により、毎年ゴールデンウィーク前後に行われています。各院生の修士論文完成に向けて、中間段階の到達度をはかり、専門的な指導を受ける場を設けています。

『ソクラテスのダイモニオンについて—神に憑かれた哲学者』

〈著者〉田中 龍山(教授)
 〈発行〉晃洋書房
 〈発行年〉2019年

『近世哲学史点描—デカルトからスピノザへ—』

〈著者〉松田 克進(教授)
 〈発行〉行路社
 〈発行年〉2012年

専任教員紹介

2026年度 専任教員の専門分野・主な研究テーマと担当授業科目

氏名	専門分野・主な研究テーマ	主な担当授業科目
田中 龍山	古代哲学／西洋古典学	哲学特殊研究
藤本 忠	哲学／数理科学基礎論	哲学文献研究
松田 克進	哲学／倫理学	哲学演習
山口 雅広	宗教哲学／西洋哲学史	倫理学特殊研究
小林 徹	哲学／フランス現代思想	哲学特殊研究
平野 和歌子	西洋哲学／西洋思想	哲学特殊研究

教育学専攻



POINT

- 人間の成長・発達に関する実践知に基づいた研究を行い、社会に貢献できる高度専門職業人を養成します
- 人文・社会科学にまたがる多様な専門領域を有する教員による一体指導体制があります
- 教育学コースと教育心理学コースを設置し、学習者のニーズに合わせた教育・研究環境があります

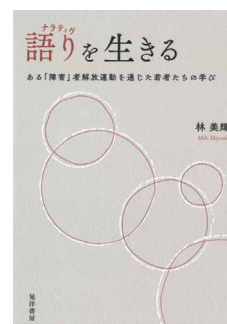
主な学会発表・研究発表

「心理尺度に関する質問紙調査で生じる欠測値への補完方法について：平均値・標準偏差、相関についてのリストワイズ除去法・単一代入法・多重代入法の比較」

〈著者〉郷式 徹
〈発行〉龍谷学会
〈発行年〉2025年

『語り(ナラティブ)を生きる：ある「障害」者解放運動を通じた若者たちの学び』

〈著者〉林美輝
〈発行〉晃洋書房
〈発行年〉2023年



専任教員紹介

2026年度 専任教員の専門分野・主な研究テーマと担当授業科目

氏名	専門分野・主な研究テーマ	主な担当授業科目
亀口 まか	教育史学／社会教育学	社会教育学特殊研究
郷式 徹	教育心理学／発達心理学	教育心理学演習／発達心理学特殊研究
出羽 孝行	異文化間教育学／比較教育学	異文化間教育学演習／異文化間教育学特殊研究
林 美輝	生涯教育学	生涯教育学演習／生涯教育学特殊研究

日本史学専攻



POINT

- 時代別・分野別に9つの演習(ゼミ)を中核とした充実の教育体制があります
- 複数の演習(ゼミ)の受講による幅広い視野に立ったオリジナルな研究を推奨します
- 学内・学外の学会・研究会等を通じて活発に研究成果を発信します

主な学会発表・研究発表

大阪歴史学会 中世・近世合同部会9月例会

〈発表者〉田中 偲温
 〈発表年月日〉2025年9月23日
 〈発表タイトル〉
 「豊臣一族の病気平癒祈願と朝廷」

仏教史学会4月例会

〈発表者〉神林 声
 〈発表年月日〉2025年4月19日
 〈発表タイトル〉
 「建長の弾圧と「造悪無碍」
 ——「消息」から見る親鸞集団」

日本文化財科学会第42回大会ポスター発表

〈発表者〉阿部 智裕、
 岩田 泰幸(公益財団法人文化財虫菌害研究所研究員)、
 北野 信彦(教授)
 〈発表年月日〉2025年7月5・6日
 〈発表タイトル〉
 「国内文化財建造物におけるマサカカツオブシムシの初確認と
 季節消長について」

専任教員紹介

2026年度 専任教員の専門分野・主な研究テーマと担当授業科目

氏名	専門分野・主な研究テーマ	主な担当授業科目
樋口 健太郎	日本古代史・中世史	古代史演習／日本史学文献研究
吉田 賢司	日本中世史	中世史演習
山本 浩樹	日本近世史	近世史演習
嘉戸 一将	日本近代史・現代史	日本法制史特殊研究／日本史学文献研究／近代史演習
中西 直樹	日本近代仏教史	日本仏教史演習
國下 多美樹	日本考古学	考古学演習／考古学特殊研究
神田 雅章	日本美術史(彫刻)	美術史特殊研究／美術史演習
北野 信彦	文化遺産学	文化財科学演習
斎藤 信行	日本中世仏教史	日本仏教史文献研究／日本仏教史演習
高山 嘉明	日本近代史	日本史学文献研究

東洋史学専攻



POINT

- 中国やイスラーム文化圏をはじめとする諸地域の歴史について専門的な知識と技能を修得します
- 豊富な所蔵資料をはじめとする原典資料の分析に基づく研究を重視します
- 広い視野に立ってアジア全体を深く洞察できる人材を養成します

主な学会発表・研究発表

ナイラムダル勲章受章記念講演会

〈発表者〉村岡 倫(教授)
 〈発表年月日〉2025年6月4日
 〈発表タイトル〉
 現地主義のモンゴル帝国史
 —龍谷大学の文化財支援に関連して—

龍谷史学会 史学大会

〈発表者〉廣瀬 眞彌子
 〈発表年月日〉2024年11月1日
 〈発表タイトル〉
 漢代辺境における文書伝達制度の
 研究成果と諸問題

『古代チベット帝国の国家と軍制』

〈著者〉岩尾 一史(教授)
 〈発行年月日〉2025年11月30日

専任教員紹介

2026年度 専任教員の専門分野・主な研究テーマと担当授業科目

氏名	専門分野・主な研究テーマ	主な担当授業科目
岩尾 一史	中央アジア史／チベット史	東洋近世近代史演習／東洋史文献研究
近藤 真美	イスラーム時代西アジア史	東洋中世史演習／東洋中世史特殊研究／東洋史文献研究
塩野崎 信也	コーカサス地方史	東洋史文献研究／東洋近世近代史特殊研究
角谷 常子	中国古代史／中国文化史	東洋古代史演習／東洋古代史特殊研究
渡邊 久	東アジア中近世史	東洋近世近代史演習／東洋史文献研究／ 東洋中世史特殊研究
市川 良文	中央アジア古代史・仏教文化史	東洋近世近代史特殊研究
吉田 叡禮	東洋仏教史	東洋仏教史演習

日本語日本文学専攻



POINT

- 個々人の研究テーマ・進路・希望に添った個別指導を重視します
- 「ことば」を原点にした独創的・学際的な研究活動も尊重します
- 研究倫理と情報発信力の強化を目的とする学内学会活動を促進します

主な学会発表・研究発表

日本近世文学会2022年度 第143回大会

〈発表者〉岩間 智昭

〈発表年月日〉2022年11月5日

〈発表タイトル〉

明治期刊行「笏堂」勸化本の二系統
—近世期刊行の「笏堂」諸作品との比較を中心に—

日本近代文学会 2025年度春季大会・国際研究集会

〈発表者〉野間 颯

〈発表年月日〉2025年6月1日

〈発表タイトル〉

近代短歌と〈事実〉
—中河與一の「写生」短歌批判と
石原純の相関性に注目して—

和歌文学会第148回関西例会

〈発表者〉安井 重雄

〈発表年月日〉2025年7月5日

〈発表タイトル〉

木戸孝範自讃歌注(『自讃歌伝』)再考

専任教員紹介

2026年度 専任教員の専門分野・主な研究テーマと担当授業科目

氏名	専門分野・主な研究テーマ	主な担当授業科目
安藤 徹	平安朝文学／物語社会学	古典文学演習
安井 重雄	日本中世文学／和歌文学	古典文学演習
高木 彬	日本近現代文学／建築空間表象	近代文学演習
和田 恭幸	仏教文学／書誌学	情報出版学演習
寺田 詩麻	日本近世・近代演劇	情報出版学特殊研究
内田 智子	日本語学史	日本語学演習
余田 弘実	語彙史	日本語学特殊研究

英語英米文学専攻



POINT

- 言葉を深く研究することで、特定の文化にとらわれないグローバルな思考力が身につきます
- 英語圏の大学に留学するための能力と自信が身につきます
- 学部では取得できない教員の専修免許状(英語)が取得できます

主な学会発表・研究発表

『アメリカン・ポエジーの水脈』
(龍谷叢書62)

〈編著者〉池末 陽子(准教授)
三宅 一平(講師)

〈発行〉小鳥遊書房

〈発行年月〉2024年12月



The Global Jane Austen:
Celebrating and Commemorating 250 years of Jane Austen
(ジェイン・オースティン生誕250年記念大会@英国サウサンプトン大学)

〈発表者〉水尾 文子(教授)

〈発表年月日〉2025年7月10日

〈発表タイトル〉

"All cleverness is met here with a general suspicion":

Sisterhood, Female Creativity and the Ethics of Care in Gill Hornby's *Godmersham Park*'

専任教員紹介

2026年度 専任教員の専門分野・主な研究テーマと担当授業科目

氏名	専門分野・主な研究テーマ	主な担当授業科目
福本 宰之	英文学(詩・韻文)	英文学演習
David G. McCullough	英米文化／言語教育	英米文化演習
水尾 文子	英文学(小説)	英米文学文献研究
池末 陽子	アメリカ文学	
早瀬 尚子	英語学／認知言語学	英語学特殊研究、英語学演習
三宅 一平	現代アメリカ文学／オーストラリア文学	英米文学文献研究

380年の伝統が織りなす充実した研究環境



龍谷大学発祥の地、大宮キャンパス



大宮キャンパス



重要文化財の建物で講義を受講



大宮キャンパス「東覚」

京都駅からわずか徒歩約10分でアクセス可能な大宮キャンパス。主に文学部・心理学部3・4回生と大学院文学研究科・実践真宗学研究科・心理学研究科の大学院生が学んでいます。

龍谷大学は1639(寛永16)年に西本願寺境内に創設された学寮を起源としており、その発祥の地が現在の大宮キャンパスです。本館をはじめ、教室がある北覚、南覚は国の重要文化財に指定されています。京都市民が残したいと思う“京都を彩る建築や庭園”としても認定された、伝統のある建物で講義を受講することができ、落ち着いた雰囲気の中で研究に没頭できます。

毎年、様々な講演会やシンポジウムも開催されており、多くの学生の知的好奇心を刺激していることでしょう。

1936(昭和11)年竣工、2006(平成18)年にリニューアルオープンした大宮図書館。『類聚古集』(国宝)、『李柏尺牘稿』(重要文化財)、『解体新書』(初版本)、現存最古級の世界地図である『混一疆理歴代国都之図』など、和漢の古典籍を中心とした貴重な資料をはじめ、真宗学、仏教学、哲学、歴史学などの分野を中心とした人文科学系の蔵書数は約73万冊にのぼります。龍谷大学全体では、219万冊以上の蔵書数を誇り、龍谷大学以上の蔵書がある図書館を有する大学は、日本ではごく僅かという恵まれた環境での研究が可能です。

2008(平成20)年には、建築としての質はもとより、そこで展開されているサービスのよさが高く評価され、第24回日本図書館協会建築賞を受賞しました。



大宮図書館



大谷探検隊の陶板画が掲げられた閲覧スペース



日本有数の蔵書を誇る大宮図書館



平家物語が記されたエレベーター



仏教総合博物館、龍谷ミュージアム



龍谷ミュージアム



復元されたベゼクリク石窟寺院大回廊



何度も足を運びたいくなる魅力的な展示

仏教の総合博物館として、2011(平成23)年4月に開館した龍谷ミュージアムには、これまでに約58万人が来館。シリーズ展では仏教発祥の地であるインドからアジアへの広がり、さらには日本での展開を豊富な資料で紹介しており、仏教伝来の通史に触れることができます。ガンダーラ仏や、大谷探検隊がインドや中央アジアからもたらした学術資料、さらには聖徳太子絵伝や親鸞聖人絵伝など、多彩な仏教文化を堪能できます。春と秋にはテーマを設けて大規模な特別展を開催し、これまでに「浄土真宗と本願寺の名宝」、「地獄絵ワンダーランド」、「お釈迦さんワールド」など魅力的な展示を行っています。

展示物のなかでも圧巻なのは、中国・新疆ウイグル自治区のトルファン郊外にあるベゼクリク石窟寺院大回廊の復元。鮮やかな壁画は、世界中に分散している壁画パーツのデータを集め、龍谷大学古典籍デジタルアーカイブ研究センターの最新技術により、高さ3.5m、長さ15mにわたり、原寸大で復元したものです。

仏教美術を研究する学生、学芸員を目指す学生にとっては何度も足を運びたいくなるミュージアムです。

学費・諸会費について(2026年度実績) 2027年度学費の詳細については、2027年度入学試験要項でご確認ください。

修士課程(通常学費) 文学研究科

		入学時納入金(単位:円)			後期(単位:円)		
		前期			後期		
		本学学部出身者	本学研究科の課程出身者	他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者	他大学出身者
学 費	入学金	150,000	0	200,000	0	0	0
	授業料	306,500	306,500	331,500	306,500	306,500	331,500
諸会費		5,500	5,500	20,500	5,500	5,500	5,500
合 計		462,000	312,000	552,000	312,000	312,000	337,000

博士後期課程(通常学費) 文学研究科

		入学時納入金(単位:円)			後期(単位:円)		
		本学学部出身者	本学研究科の課程出身者	他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者	他大学出身者
学 費	入学金	150,000	0	200,000	0	0	0
	授業料	306,500	306,500	331,500	306,500	306,500	331,500
諸会費		5,500	5,500	20,500	5,500	5,500	5,500
合 計		462,000	312,000	552,000	312,000	312,000	337,000

奨学金制度 龍谷大学では、大学院生を対象とした独自の奨学金制度を設け、経済的な側面から大学院での学修をサポートしています。

1. 大学院成績優秀者給付奨学金(自己応募) 【本学独自】

学業成績が優秀な者で、人物的にも優れた学生に給付します。

金額:年額150,000円

対象:修士課程(2年次)・博士後期課程(2・3年次)在籍者

2. 大学院学内進学奨励給付奨学金(予約採用型) 【本学独自】

学内進学者のうち学業成績および人物が優秀な者に給付します。

金額:年額150,000円

対象:修士課程・博士後期課程入学者

3. 大学院研究活動支援給付奨学金(自己応募) 【本学独自】

研究活動を積極的におこなう学生に給付します。

金額:年額200,000円

対象:修士課程(1年次)・博士後期課程在籍者(1年次)

4. その他の奨学金制度

上記の奨学金制度のほか、様々な奨学金制度を設けています。

① 仏教活動奨学生(自己応募)

原則として300,000円の範囲内

② 親和会海外研修奨学金(自己応募)

・自己研鑽コース 100,000円の範囲内

・研究コース 300,000円の範囲内

③ 慶華奨学金(自己応募)

年額250,000円

④ 家計急変奨学金(自己応募)

300,000円の範囲内

⑤ 災害給付奨学金(自己応募)

被災内容に応じ、年間授業料相当額

もしくは、半期授業料相当額

⑥ 外国人(留学生)特別奨学金(推薦制)

年額576,000円

※この他にも、日本学生支援機構・地方公共団体・民間団体が実施する奨学金制度があります。
※金額や対象は2026年度実績を記載しております。2027年度は、変更となる可能性があります。

資格取得 文学研究科では様々な資格取得が可能です。専門性を活かしたキャリア形成をはかることができます。

1. 教職課程

下表に掲げる教科の中学校専修免許状・高等学校専修免許状を取得することが可能です。

専 攻	中学校専修免許状	高等学校専修免許状
真宗学専攻・仏教学専攻	宗教	宗教
哲学専攻	社会	公民
教育学専攻	社会	地理歴史・公民
日本史学専攻・東洋史学専攻	社会	地理歴史
日本語日本文学専攻	国語	国語
英語英米文学専攻	外国語(英語)	外国語(英語)

※専修免許状とは...

修士の学位を有する(もしくは大学院に1年以上在学し、30単位以上修得したもの)とともに一種免許状を現に有し、また、一種免許状を取得するのに必要な全単位を修得していることを前提に授与される、より上級の免許状のことです。

2. 本願寺派学階課程

学階とは、浄土真宗本願寺派の教学における学位のことを指します。真宗学専攻・仏教学専攻の修士課程を修了した学生は、「輔教」の学階をうけるための試験免除資格を得ることができます。

3. 学部科目履修制度利用による諸資格取得

本学文学部で開講している科目を受講し、所定の単位を修得することにより、免許・資格(教職課程・本願寺派教師資格・博物館学芸員課程・図書館司書課程・学校図書館司書教諭など)を取得することが可能です。(原則として有料ですが、一部科目は無料です。)

大学院生支援制度 大学院生が学修・研究活動をさらに充実させることを目的に、「大学院研究活動奨励・支援制度」を設けています。

1. 学会活動支援

大学院生の学会活動の促進を目的として、学会への入会費または年会費、学会に参加・研究成果の発表を行う際の費用を支援する。

① 入会金または年会費:上限5,000円(年間1学会まで)

② 学会参加費(発表を伴わない):一律10,000円(②③合わせて年間2回まで)

③ 学会参加費(発表を伴う:国内):一律30,000円(②③合わせて年間2回まで)

④ 学会参加費(発表を伴う:海外):一律100,000円(年間1回まで)

※②③④は研究者間の交流を促すため、対面での参加を対象とする。

2. 調査等活動支援

大学院生の調査活動の促進を目的として、大学院生が行う研究に関わる現地調査・フィールド調査・学外機関等への訪問に関する宿泊費・交通費を支援する。

【宿泊・交通費支援】上限30,000円(年間1回まで)

3. 論文投稿支援

研究成果の発信を促進することを目的として、学会や国内・海外ジャーナル等へ論文を投稿する際に必要となる論文投稿料を支援する。

【論文投稿料支援】上限50,000円(年間1回まで)

4. 論文校正支援

研究成果の発信を促進することを目的として、外国語による論文を国際学会やジャーナル等へ投稿する際の論文校正にかかる業者への委託費用、または国際学会等において、外国語による論文口頭発表や論文ポスター発表をする際に必要となる校正にかかる業者への委託費用を支援する。

【論文校正にかかる業務委託費支援】上限50,000円(年間1回まで)

5. 自主研究会運営支援

大学院生の自主的な研究会活動を促進することを目的として、研究会の企画に関する費用および学外講師の招聘に関する費用を支援する。

【自主研究会運営費支援】上限100,000円(年間10研究会まで)

6. 博士論文出版支援

博士後期課程学生の博士論文の刊行を促進することを目的として、本学博士後期課程において博士学位(課程博士)を取得した者が当該博士論文を出版する際、その経費の一部を支援する。

【出版費支援】上限1,000,000円(年2件まで)

龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学大学院 文学研究科

新たな知と価値を創造するために、
「心・知・行動」の拠点として、地域や世界の課題に対峙し、
問い続ける。それが、龍谷大学の研究のあり方です。

これまでの社会のありようや私たちの行動を省み、
先端的な研究や学際的連携による知の集約のもと、
世界の人々と協力して困難な課題に立ち向かう。
その姿勢と行動が、未来の可能性を切り拓いていきます。

京都大宮キャンパス※ 〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1
Tel 075-343-3317 let@ad.ryukoku.ac.jp

※2027年4月、「大宮キャンパス」より名称変更。



文学研究科の HP はコチラから

<https://www.let.ryukoku.ac.jp/graduate/>

■ 入試について

「2027年度入学試験要項」をご確認ください。
また、入試結果については入試情報サイトに掲載しております。
<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/>

■ 学費・諸会費について

2027年度学費・諸会費については、「2027年度入学試験要項」をご参照ください。

※掲載の学年、所属は取材時のものです。

2026年5月発行